

平成18年度事業計画

## 1 全体概要

やまぐち森林づくり県民税関連事業の平成18年度事業については、平成17年度第4回推進協議会において協議し了解を得た事業計画に基づき、各市町村からの要望調査等の結果を踏まえ、次表のとおり実施することとしたい。

### 《平成18年度事業実施案》

項目	平成18年度事業量			平成18年度 予算額 (千円)	平成17年度 事業量	5年間の 整備目標
	計画量	要望量	実施量(案)			
健全で多様な森林づくりの推進（ハード整備事業）						
公益森林整備 事業	350ha	361ha	350ha	176,000	330ha	2,500ha
竹繁茂防止 緊急対策事業	155ha	164ha	155ha	159,000	145ha	300ha
やすらぎの森 整備事業	3箇所	22箇所	3箇所	30,000	3箇所	15箇所
魚つき保安林等 海岸林整備事業	2ha	8.5ha	2ha	5,000	2ha	10ha
県民との協働による森林づくりの推進（周知事業）						
県民との協働に よる百年の森づ くり推進事業	《森林づくりフェスタの開催(案)》 開催期日：平成18年10月22日(日) 開催場所：周南市和田 和田小・中学校グラウンド等 開催規模：1,000人程度			5,000		—
計				375,000		

(注) 平成18年度の竹繁茂防止緊急対策事業は、竹林の伐採(155ha)と平成17年度事業実施箇所における再生竹の除去(145ha)を実施。

## 2 健全で多様な森林づくりの推進（ハード整備事業）

公益森林整備事業、竹繁茂防止緊急対策事業などハード整備関係4事業については次のとおり実施することとしたい。

### (1) 公益森林整備事業

水源のかん養や県土の保全など森林の持つ多面的機能の早期回復が求められる荒廃した人工林を対象に、強度の間伐を実施し、針葉樹・広葉樹の混じり合った混交林へ誘導する本事業については、市町からの要望調査の結果を踏まえ、次のとおり実施する。

#### ① 市町からの要望量調査の結果

各市町から、①地域事情、②事業の緊急性、③事業実施の可能性等を踏まえて要望量の調査を実施したところ、次表のとおり計画量を3割超える結果となった。

平成18年度計画事業量 (a)	市町要望事業量 (b)	対比 (b/a)	備考
350割	361割	103割	

#### ② 事業実施（案）

- i) 超過量は大幅でないことから、平成18年度の実施事業量は当初の計画事業量どおり350割とする。
- ii) 各地域別の事業実施量は、各市町からの要望を基に、圏域間のバランス、調整基準に沿って精査し、実施案（p.3）を策定した。

#### 《調整基準》

- 1 各圏域ごとに、①市町要望量と②市町別の水土保持林内の私有林における36年生以上のスギ・ヒノキ人工林の割合から求めた平成18年度基準値を比較。
- 2 次の調整率を基に圏域別及び市町別に調整を実施。

区 分	調整率	
1 圏域別要望量 ≤ H18基準値	1.0	
2 圏域別要望量 > H18基準値	1.0倍程度	1.0
	1.5倍程度	0.8

（注）本事業は、ダム上流域、河川源流域の荒廃したスギ、ヒノキの人工林を対象に県、市町、対象森林の所有者の間で三者協定を締結し、40%以上の強度間伐を実施。所有者は整備後20年間は皆伐をしないことが条件。

### 公益森林整備事業実施（案）

区 分		① 要望量	② 基準値	①/② 対比	③ 調整率	④ 調整値	⑤ 実施案	⑥ 備考 充足率	
岩 国	岩 国 市	75.20	78.84	0.95	1.00	75.40	75.40	100%	
	和 木 町	0.20	0.18	1.11					
	小 計	75.40	79.02	0.95					
柳 井	柳 井 市	1.00	1.26	0.79	1.00	4.00	4.00	100%	
	周防大島町	2.00	1.75	1.14					
	上 関 町	—	0.21	—					
	平 生 町	1.00	0.70	1.43					
	小 計	4.00	3.92	1.02					
周 南	周 南 市	55.00	62.75	0.88	1.00	69.10	69.10	100%	
	下 松 市	9.00	4.59	1.96					
	光 市	5.00	1.19	4.20					
	田布施町	0.10	0.28	0.36					
	小 計	69.10	68.81	1.00					
山 口 防 府	山 口 市	36.00	36.33	0.99	1.00	80.00	80.00	100%	
	防 府 市	1.00	0.91	1.10					
	美 東 町	16.00	16.56	0.97					
	秋 芳 町	11.00	11.24	0.98					
	阿 東 町	16.00	20.40	0.78					
	小 計	80.00	85.44	0.94					
宇 部 小野田	宇 部 市	6.50	8.23	0.79	1.00	27.50	27.50	100%	
	山陽小野田市	3.00	0.77	3.90					
	美 祢 市	18.00	20.61	0.87					
	小 計	27.50	29.61	0.93					
下 関	下 関 市	35.00	23.35	1.50	0.80	28.00	28.00	80%	
	小 計	35.00	23.35	1.50					
長 門	長 門 市	20.00	14.18	1.41	0.80	16.00	16.00	80%	
	小 計	20.00	14.18	1.41					
萩	萩 市	45.00	40.11	1.12	1.00	50.00	50.00	100%	
	阿 武 町	5.00	5.56	0.90					
	小 計	50.00	45.67	1.09					
計		361.00	350.00	1.03			350.00	97%	

(注) 要望量、基準値、調整値、実施案の単位は畝。

## (2) 竹繁茂防止緊急対策事業

繁茂竹林等を対象に竹の伐採と、再生竹の除去による継続的な管理を行うことにより、繁茂竹林の広葉樹林等への転換を図る本事業については、市町からの要望調査の結果を踏まえ、次のとおり実施する。

### ① 市町からの要望調査の結果

各市町から、①地域事情、②事業の緊急性、③事業実施の可能性等を踏まえて要望量の調査を実施したところ次表のとおり計画量を6%超える結果となった。

平成18年度計画事業量(a)	市町村要望事業量(b)	対比(b/a)	備考
155%	164%	106%	

### ② 事業実施（案）

- i) 超過量は大幅でないことから、平成18年度の実施事業量は、当初の計画事業量どおり155%とする。
- ii) 各地域別の事業実施量は、市町からの要望を基に、圏域間のバランス、調整基準に沿って精査し、実施案（p.5）を策定した。

#### 《調整基準》

- 1 各圏域ごとに、①市町要望量と②市町別の水土保全林内の私有林における竹林の割合から求めた平成18年度基準値を比較。
- 2 次の調整率を基に圏域別及び市町別に調整を実施。

区 分	調整率	
1 圏域別要望量 ≤ H18基準値	1.0	
2 圏域別要望量 > H18基準値	1.0倍程度	1.0
	1.2倍程度	0.9
	1.3倍程度	0.8

（注）本事業はダムや身近な生活の場等の周辺の繁茂した竹林を対象に、県、市町、対象竹林所有者の間で三者協定締結し、竹の伐採と再生竹の伐採（竹の伐採の後、再生する新たな竹を3年間全伐）を行うもの。対象竹林の所有者は9年間、竹林として使用しないことが条件。）

### 竹繁茂防止緊急対策事業実施（案）

区分		① 要望量	② 基準値	①/② 対比	③ 調整率	④ 調整値	⑤ 実施案	⑥ 備考 充足率	
岩国	岩国市	7.20	7.26	0.99					
	和木町	—	0.26	—					
	小計	7.20	7.52	0.96	1.00	7.20	7.20	100%	
柳井	柳井市	3.00	3.85	0.78					
	周防大島町	5.00	1.74	2.87					
	上関町	—	0.88	—					
	平生町	2.00	1.77	1.13					
	小計	10.00	8.24	1.21	0.90	9.00	9.00	90%	
周南	周南市	25.00	18.91	1.32					
	下松市	5.00	4.41	1.13					
	光市	7.00	4.05	1.73					
	田布施町	2.50	1.93	1.30					
	小計	39.50	29.30	1.35	0.80	31.80	31.80	81%	
山口 防府	山口市	8.50	8.45	1.01					
	防府市	3.00	1.71	1.75					
	美東町	3.00	3.67	0.82					
	秋芳町	4.00	4.99	0.80					
	阿東町	5.00	5.87	0.85					
	小計	23.50	24.69	0.95	1.00	23.50	23.50	100%	
宇部 小野田	宇部市	9.00	6.08	1.48					
	山陽小野田市	1.00	1.03	0.97					
	美祢市	10.00	12.70	0.79					
	小計	20.00	19.81	1.01	1.00	20.00	20.00	100%	
下関	下関市	24.50	24.88	0.98					
	小計	24.50	24.88	0.98	1.00	24.50	24.50	100%	
長門	長門市	19.00	18.99	1.00					
	小計	19.00	18.99	1.00	1.00	19.00	19.00	100%	
萩	萩市	17.00	18.58	0.91					
	阿武町	3.00	2.99	1.00					
	小計	20.00	21.57	0.93	1.00	20.00	20.00	100%	
計		163.70	155.00	1.06			155.00	95%	

(注) 要望量、基準値、調整値、実施案の単位は万円。

### (3) やすらぎの森整備事業

広く県民が森林とふれあえる場となる生活に身近な森林の整備等を行う本事業については、市町からの要望調査における対象箇所を踏まえ、次のとおり実施する。

#### ① 事業実施箇所の選定

- i) 本事業については、各年度3箇所の整備を想定し、5ヵ年間で15箇所の整備を計画している。
- ii) 市町からの要望を踏まえ、①計画の具体性、②事業効果、③他事業等との相乗効果の高い箇所を優先して選定する。

#### ② 事業実施（案）

事業実施箇所の選定の結果、次の3箇所において事業を実施する。

市町名	所在地	名称	事業内容
下関市	豊北町	大浦岳	景観整備、遊歩道、東屋
長門市	仙崎	青海島	景観整備、遊歩道（ユニバーサル）
萩市	椿東	田床山	景観整備、遊歩道、ベンチ

（注1）本事業は生活環境保全林等を対象に森林景観や休憩施設、遊歩道等の整備。

（注2）市町からの要望箇所については次ページを参照。

### (4) 魚つき保安林等海岸林整備事業

荒廃が著しい魚つき保安林等の海岸林の整備を行う本事業については、市町からの要望調査による対象箇所を踏まえ、次のとおり実施する。

#### ① 事業実施箇所の選定

- i) 本事業については、各年度2箇所の整備を想定し、5ヵ年間で10箇所の整備を計画している。
- ii) 市町からの要望を踏まえ、①計画の具体性、②緊急性、③事業効果の高い箇所を優先して選定する。

#### ② 事業実施（案）

事業実施箇所の選定の結果、次の2箇所において事業を実施する。

市町名	所在地	面積（畝）	事業内容
宇部市	西岐波白土	1.50	抵抗性きららマツの植栽、防風垣の設置
萩市	大井鶴山	0.50	抵抗性きららマツの植栽、防風垣の設置

（注）市町からの要望箇所については次ページを参照。

## ◆やすらぎの森整備事業（要望箇所一覧表）

圏域	市町名	所在地	名 称	整備年度	備 考
岩 国	岩 国 市	奥ヶ迫	玖珂町総合公園		
	岩 国 市	六呂師	高照寺山		
	岩 国 市	宇佐郷	深谷狭温泉清流の里		
柳 井	柳 井 市	琴石山	琴石山グリーンパーク		
周 南	光 市	束 荷	伊藤公記念館周辺	17年度	植栽、遊歩道、展望広場等
	周南市	須々万	ふれあいの森		
	下松市	笠 戸	家族旅行村		
山 口 防 府	山 口 市	大原東	長者ヶ原（森林文化基地周辺）	17年度	植栽、東屋、ベンチ等
	山 口 市	上宇野台	兄弟山		
	山 口 市	東	草山公園		
	阿東町	嘉 年	十種ヶ峰		
宇 部 小野田	宇 部 市	川 上	霜降山（生活環境保全林）	17年度	エコトイレ
	山陽小野田市	有 帆	菩提寺山		
下 関	下 関 市	豊北町	大浦岳（生活環境保全林）	18年度	景観整備、遊歩道、東屋
	下 関 市	蒲生野	深坂公園		
	下 関 市	豊田町	華山		
	下 関 市	菊川町	田部		
長 門	長 門 市	仙 崎	青海島（生活環境保全林）	18年度	景観整備、遊歩道（ユニバーサル）
	長 門 市	三隅中	千年の森		
	長 門 市	日置中	二位ノ浜		
萩	萩 市	椿 東	田床山（生活環境保全林）	18年度	景観整備、遊歩道、ベンチ
	萩 市	田万川町	宇生		
	萩 市	旭 村	長小野		
	萩 市	福栄村	戸弥谷		
	阿武町	福田下	手間ヶ谷		
計	13市町	25箇所			

## ◆魚つき保安林等海岸林整備事業（要望箇所一覧表）

圏域	市町名	所在地	面積（畝）	整備年度	備 考
周 南	下松市	笠戸	0.50		
宇部小野田	宇 部 市	西岐波白土	1.50	18年度	抵抗性きららマツ植栽、防風垣
下 関	下 関 市	豊北町角島	2.00		
	下 関 市	神田上	1.00		
	下 関 市	阿川	0.50		
長 門	長 門 市	西深川小松原	0.50		
	長 門 市	油谷町大浜	0.50		
	長 門 市	仙崎青海島	1.40	17年度	抵抗性きららマツ植栽
萩	萩 市	櫃島	0.60	17年度	抵抗性きららマツ植栽、防風垣
	萩 市	大井鶴山	0.50	18年度	抵抗性きららマツ植栽、防風垣
	萩 市	椿東大渡	0.50		
	阿武町	奈古松原	1.00		
計	6市町		10.50		

### 3 県民との協働による森林づくりの推進（周知事業）

県民税導入2年目となる平成18年度においては、税の導入目的や税制度の内容などについて県民への一層の周知を図るとともに、具体的な税の用途について理解促進を図るため、税関連事業地を活用した周知活動などに取組むこととしたい。

#### (1) やまぐち森林づくりフェスタの開催

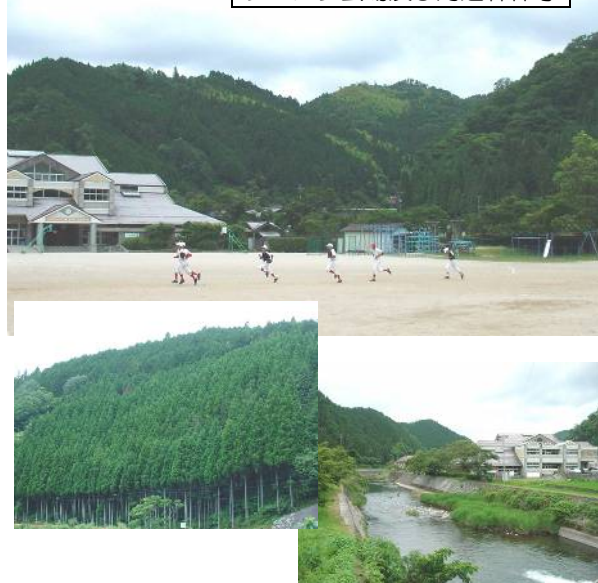
森林の重要性や森林整備の必要性、「やまぐち森林づくり県民税」の取組みなどについて、県民の共通理解を得るための中核となる周知啓発行事として、開催地域の特性等を踏まえて「やまぐち森林づくりフェスタ」を開催する。

#### 開催概要（案）

- 1 開催時期：平成18年10月22日（日曜日）
- 2 開催場所：周南市和田 和田小・中学校グラウンド及び周辺森林等
- 3 開催規模：参加目標人数 1,000人程度
- 4 実施体制：県・周南市・関係団体等で構成する実行委員会を設置し実施する。
- 5 開催内容
  - (1) 開会行事（オープニングイベント）
  - (2) 周知行事（森林の重要性や県民税の理解促進のためのイベント）
  - (3) 体験行事（森林への関心の喚起や森林を活用したイベントの開催）
  - (4) 物産販売等（地域特産・林産物販売、昼食販売等）
- 6 その他：地域行事の連携開催



フェスタ会場及び周辺森林等





## (2) 周知活動

広報ツールやパブリシティを積極的に活用し、税の導入目的や税制度の内容などについて幅広い県民への周知を行うとともに、事業実施箇所を活用した取組みを行うことで税の使途について理解促進などを図る。

また、このような取組みについては、やまぐち森林づくり推進協議会をはじめとする幅広い県民の意見を反映しながら積極的に進める。

周知活動の内容等は次のとおりである。

### 周知活動の実施案

#### 1 広報ツールを活用した周知活動の実施

- (1) 県の施設や民間企業・消費者団体、各種イベント等における周知パネルの展示
- (2) 県や市町の関係施設等へのリーフレットの配布
- (3) 森林所有者への事業紹介チラシの配付 など

#### 2 税関連事業の事業地を活用した周知活動の実施

- (1) 公益森林整備事業地を活用した現地説明会の開催
- (2) 竹繁茂防止緊急対策事業地を活用したタケノコ採り（実施済み）の開催
- (3) やすらぎの森整備事業完成記念行事の開催
- (4) モデル林の周知と現地見学会の開催
- (5) 事業地で伐採された木材や竹材を各種イベント等で活用

- (6) 展示林の設置と看板の掲示

#### 3 やまぐち森林づくり推進協議会の開催

- (1) 平成18年度 3回開催予定
- (2) 県のホームページで協議内容等を掲載

#### 4 その他の広報活動

- (1) 国民文化祭やきらら物産・交流フェア等のイベントや、やまぐちフラワーランドなどの施設における周知活動
- (2) 県政出前トークの活用促進
- (3) 県政放送（県広報誌「ふれあい山口」の活用、新聞広告等）や市町、森林組合広報誌などへの掲載
- (4) プレスリリースなどを積極的に活用し、パブリシティを通じた周知を促進
- (5) 県政世論調査による周知度の把握